



花と緑の環境美化コンクール県大会2位



48号

平成31年2/1
二中地区市民委員会
文化広報部発行
電話 824-3588
FAX 824-3553

祝

第46回花と緑の環境美化コンクール(茨城県)
茨城県教育委員会教育長賞

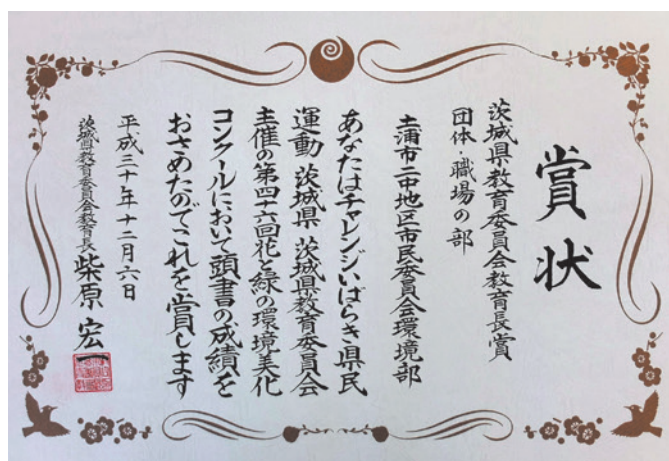
受賞によせて

館長 矢口 昭

今年度の「花と緑の環境美化コンクール」中央審査におきまして、本市民委員会環境部が県教育長賞に選ばれ、12月6日、水戸プラザホテルでの表彰式に出席してまいりました。

本公民館を花で飾り、多くの方々に来館を楽しんでもらいました。

環境部の皆様、花の苗植えをはじめ、環境整備のための活動に献身的にご協力くださいましたことに深く感謝申し上げます。



第32回
二中地区文化祭

「二中地区文化祭を終えて」

館長 矢口 昭

11月18日から25日の8日間にわたり「第32回二中地区文化祭」が、好天にも恵まれ、多数の皆様にご来場をいただき、盛大に開催することができました。

18日からの文化芸術展は、小・中学校から選ばれた作品や、同好会や一般の方々の力作を出品していただき、会場を訪れた方にも大変好評でした。

最終日の芸能大会は、小・中学生の合奏や合唱で盛り上がり、一般の参加者や同好会の皆様、日頃の練習の成果を十分に発揮されたものでした。

館外の模擬店では、チャレンジクラブをはじめ、市民委員会や各団体が工夫を凝らした販売等を行い、農産物展示即売は、朝早くから行列ができて、今年も大盛況でした。

準備から当日までご協力くださった市民委員会や同好会の皆様、農産物を提供してくださった農家組合の皆様、深く感謝申し上げます。

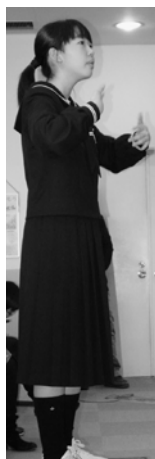
ありがとうございました。

二中地区文化祭に参加して

土浦二中合唱

土浦二中 七年 鶴田 真優

二中地区文化祭では緊張したけれど、私たちの思いがそれぞれの届いた人に伝わったと思うと、練習のときぶつかり合ったことや悩んだことも含め全てが最高の思い出になったと感じました。何より優秀賞に導いてくれた担任の先生の前でもう一度歌えたことがとても嬉しかったです。最高の仲間とともに、地域の方々に歌を届けられたこの経験を生かし、より笑顔あふれるクラスにしていきたいです。



スクエアステップ

岡村 いく子

スクエアステップと聞いても良くわからない方が多いと思います。認知度はあまり高くないのですが高齢者の転倒予防、認知機能向上、体力アップ等その効果は素晴らしいものがあります。

どのような運動か知ってもらいたく文化祭でパフォーマンスをさせていただきました。由利先生がスクエアステップについて説明した後、同好会の会員が初歩のステップを踏み、その後来場者の方にも入ってもらい一緒に体験しました。

短時間でよく理解できなかったかも知れませんが、同好会は第2、第4日曜日10時からです。見学、体験いつでもどうぞ！



花みずき（カラオケ）

鈴木 任子

カラオケ同好会「花みずき」は結成7年となり今年も文化祭に出演、日頃のレッスンの成果を発表致しました。曲は中村美律子さんの「保津川恋唄」、天童よしみさんの「きずな橋」でしたが会員皆さんの歌声はいかがでしたか。講師は遠藤友紀雄先生にお願いし、月に2回、第1・第3木曜日の午後1時からご指導頂いて居ります。「花みずき」に入会して良かったといわれるように、笑顔と新しい曲にチャレンジをモットーに、これからも歌う事を楽しんで続けたいと会員一同頑張ります。

歌の好きな方、一度見学にお越しください。お待ちしております。



農産物提供者

※順不同 敬称略

◆木田余東

鳥羽 圭一

鈴木 やす子

松浦 裕之

松浦 将夫

羽成 勇

羽成 ふさ子

殿岡 一男

松浦 春夫

◆木田余沖

小野 俊之

天谷 了子

高原 厚

渡部 芳浩

酒井 義雄

松浦 晃

鳥羽 博司

岩瀬 あさ子

羽成 順子

坂井 昇

吉田 信茂

遠藤 繁

小野 丹生

山口 貴士





悠遊庵さんぽみち スウェーデン刺繍



真鍋小学校 金管バンド



美重の会 民謡「津軽あいや節」



和功会 太極拳



チャレンジクラブ 模擬店体験



木田余資源保全会 (試食)

岡田 孝雄	岡田 寿夫	◆殿里西	吉田 進	菊田 忠良	◆殿里東	海老原 一郎	◆東真鍋	輕部 信二	塚本 進	岩浪 信一	松岡 勇	羽方 文彌	◆西真鍋	久松 武治	野口 辰夫	山本 徹夫	松浦 和義	山本 衛	◆木田余中	野口 憲一	小野 俊雄	小林 徹	久松 正人	小野 忠一	◆木田余西	小野 一男	高原 芳夫	小野 武司	小野 昭夫
		岡田 文男		菊田 泰弘		菊田 明		須藤 恵一	柳澤 朝子	塙 一男	岩浪 英一			久松 良次	小島 安雄	岩瀬 敏	山本 悦子			吉田 隆行	藤崎 武男	山口 敏夫	川島 一男			黒田 茂夫	藤崎 孝一	小野 和子	酒井 成良

平成 30 年度市民委員会専門部事業報告

主な担当事項	実施月日	事業内容
福祉部 地域福祉への参加協力 ふれあいネットワークへの参加協力	8月31日	窓愛園の夏祭りへの参加協力 10名
	1月19日	福祉映画鑑賞会 「毎日かあさん」
	2月予定	福祉に関する講座 (社協真鍋支部と合同で)
		この1年間の活動で感じた事は皆さんが大変協力的で、住む町内は違っていても和やかな雰囲気で行き事に取り組む事ができました。これからも、この地域を愛し、地域に少しでも貢献することができるよう活動していきたいと思ひます。
安全部 交通安全思想の啓発 防災防犯活動の推進	毎月第2火曜日	防犯パトロール
	4月7日	「真鍋の桜を楽しむ集い」 参加協力
	2月中旬予定	AED 講習会
		安全部は、毎月第2火曜日に真鍋新町、真鍋一丁目と三丁目方面の大型店舗付近をパトロールしています。「ご苦労様です」との励ましの言葉をもらひ頑張っています。「真鍋の桜を楽しむ集い」では、NHKの放映等もあり遠方からの人達も多いので、車の誘導なども丁寧にを行いました。しかし、桜の木の老化が目立つのは寂しいものがあります。
スポーツ健康部 各種スポーツレクリエーション活動 健康づくり 健康教室	8月5日	なでしこラジオ体操 参加協力
	10月7日	二中地区市民体育祭 参加協力
	11月2日	バスハイキング 「国営ひたち海浜公園」
	2月予定	歩く会 参加協力
		バスハイキングは「ひたち海浜公園」で、天気も良く園内でまずラジオ体操。みはらしの丘のコキアがすばらしく、また海も美しく見えました。そして、約2時間の自由散策。その後、魚市場で魚介類など沢山買い求め、昼食はゆっくりと「潮騒の湯」で海の幸を満喫し、温泉で休憩し、公民館に5時帰着。楽しい一日を過ごすことができました。文化祭での煮イカ、甘酒も好評にて無事終了することができました。
環境部 ゴミの減量化資源化運動 環境美化 水質浄化運動 花いっぱい運動	6月2日	花いっぱい運動、グリーンカーテン運動
	随時	環境マップの作成
	10月13日	土浦市環境展参加協力 (環境マップ出展)
	12月1日	ポイ捨て防止看板作成・設置
		「花いっぱい運動」は花の定植から始まります。大勢の皆様のご協力を頂き、「最優秀賞」受賞、引き続き、市の推薦による「花と緑の環境美化コンクール」に於いて、「茨城県教育委員会教育長賞」受賞となりました。また、土浦市環境展が世界湖沼会議と併せ実施され、3名が参加協力しました。環境保全としてはポイ捨て防止看板の作成・設置で、住み良いまちづくりに貢献しています。
青少年育成部 非行防止キャンペーン 地域と学校との連携強化 親子教室 講演会 など	年10回	チャレンジクラブ事業
	7月、11月	県主催「あいさつ・声かけ運動」参加
	8月27日	地域パトロール (鹿島神社例大祭時)
	12月11日	視察研修 文楽鑑賞教室 (文化広報部と合同で)
		7月と11月に1回ずつ土浦駅前にて通学及び通勤の方々に朝7時より8時半まで行われた「あいさつ・声かけ運動」に参加しました。文楽鑑賞教室には5人が参加しました。
文化広報部 広報紙発行 文化講演会の開催 公民館講座への参加推進	9月1日	広報紙「やすらぎ」47号発行
	12月11日	視察研修 文楽鑑賞教室 (青少年育成部と合同で)
	2月1日	広報紙「やすらぎ」48号発行
		皆様からの寄稿により今年度も無事に「やすらぎ」を発行することができました。文楽鑑賞教室には4人が参加しました。(関係記事は6ページに記載)

※上記以外に下記の事業に参加協力しました。

☆二中地区文化祭 (11/18～25)

☆合同視察研修 (2/15 予定)

☆「土浦市まちづくり市民会議」(土浦市)



小筆で開運文字



七宝焼きのアクセサリー作り

後期公民館講座



あたたかにもてきます津軽三味線！



絵手紙入門～絵手紙で年賀状を～



心温まるおもてなし料理



免疫力を高めよう！腹式呼吸とリンパ流し



山ガール～里山をめぐる～



棒編みの基本（初心者向け）

文化広報部・青少年育成部視察研修

『文楽鑑賞教室』

国立劇場(参加人数18名)

文楽の魅力

青少年育成部 坂東 秋子

この冬は、暖冬と安心しておりましたが、やはりきびしい寒さになってきました。それでも12月11日は晴天にも恵まれ、青少年育成部と文化広報部合同視察研修会が行われました。そして、各地区長の皆様方にも快くご参加を頂きました。

今回の研修会は「文楽鑑賞教室」という事で、国立劇場で昭和44年か

菅原伝授手習鑑

PDF版掲載不許可

ら開催されている、人形浄瑠璃文楽をはじめとする日本伝統芸能の名作に解説が付いて、文楽の魅力を存分に味わえるものでありました。

軽妙な踊りで五穀豊穡・子孫繁栄を表す「団子売」。そして「文楽の魅力」について解説あり。三大名作

のひとつである時代物の傑作「菅原伝授手習鑑」を鑑賞しました。物語の内容としては、恩を受けた人のために我が子を犠牲にしたという、松王丸夫婦の心の葛藤が演じられ、感動を呼びながら幕は引かれました。

一体の人形を3人で操るもので、これを「三人遣い」(*)というそうです。3人の呼吸が合わさり、顔・手・足と動き出したら、観ている私達はここで心を奪われてしまいます。それを太夫、三味線が道案内となり、

すばらしい文楽の世界が広がっていくのです。

私は、16年前に夫の故郷・徳島で初めて人形浄瑠璃(阿波十郎兵衛)を知りました。その時、私の右前方の老夫婦が目頭を押さえながら鑑賞する姿がありました。当時を思い起こしながら舞台を見つめていました。

文楽は、静かに人の心に響くものがあります。是非、沢山の方々に鑑賞の時間をお勧め致します。

又、今回研修会にご参加くださいました皆様方、ご協力ありがとうございました。



※「三人遣い」とは

PDF版掲載不許可

土浦市生きがい・対応型デイサービス事業
補助施設

悠遊庵 さんぽみち

代表

田之室 光子

当施設は、平成12年に市が介護保険をスタートさせたのに伴い、要介護者を少しでも減らせるようにと、全

国に先駆けてつくった施設です。この事業は60歳以上の介護サービスを受けていない元気な高齢者が対象で、平成15年8月から始まりました。

利用者が、自主的に活動することが基本です。ひきこもりや閉じこもりをなくして、住み慣れた地域で多くの友人と一緒に、身体を動かして、楽しい日々を送れるように、スタッフ共々力を合わせて活動して

います。最近、身体を動かす講座を始めたこともあり、利用者が大分増えて、一日20数名から30名を超える日も出てきています。講座に



参加するだけではなく、お茶飲み、スタッフとおしゃべりに来る利用者もいます。

開所して15年が過ぎました。利用者の年齢も高くなり、97歳になる方は、ご家族のご協力のおかげで週1回程度遊びにきています。

年間の行事計画には、バス旅行、食事会などいろいろなイベントも盛り込んでいます。

いきいき健康教室

清水 裕美

「いきいき」健康教室は、「元気に百歳まで！」を合言葉に要介護にならないことを目的にした教室です。火・水・木・金・土曜日（不定期）の午前10時または午後1時30分から行っています。

月10回程度で、毎回10人前後の方が出席されています。もちろん男性も参加されています。

内容は、運動（ストレッチや筋トレ）を中心に、脳トレや懐かしい歌をうたいながら行うリズム体操、健康に関する情報交換を行っています。いずれも、イスに座って行うもので、体力に自信のない方や運動経験のない方でも、どなたでも参加することが出来ます。もちろん体力に自

信のある方も体力維持のためにぜひ参加してください。脳トレでは、いつも皆さんの笑い声が絶えません。（できないときは、笑っちゃえ！）

介護予防の基本は、「定期的な外出」と「適度な運動」です。

教室に参加して体と脳を動かし、大いに笑って健康長寿を目指しています。



英会話

講師 西岡 宏美

平成15年の開所と同時に始まった『洋画鑑賞の会』（現在は無し）で素敵な映画を見る度に「英語の台詞を少しでも理解したい」という人たちが集まり、英会話の会が発足しました。

それから15年、人の入れ替わりはありましたが、数名の最初からのメンバーを中心に最高齢93歳の方まで7～8名が常時励んでいます。

中学校3年間の英語を身につけていれば、世界のどこに行っても日常英会話には困らないという説を信じ

て基礎英語の復習に重点を置き、1時間は、一人ずつ

興味のある話題を英語で話し、質疑応答をし、あとの1時間は、

色々な教材を使って勉強しています。時には日本語を交えながらも、お互いに歳を重ねて蓄積してきた知識、経験を披露しながら、東京オリピックに向けて少しでも上達することを目標に努力し、和気あいあいと楽しんでいます。

※実施日：原則 第2・第3月曜日

10時～12時



利用日時 月～土曜日（祝日は休）
午前9時～午後5時
利用料 1日100円

皆さんのご参加を、お待ちしております
—スタッフ一同—



真鍋小学校地区・市民体育祭の結果

町内
ウォッチング

【Aブロック】

優勝 若松町

2位 木田余・木田余西台

3位 東真鍋

参加チーム (順不同) 真鍋

四丁目・真鍋六丁目・真鍋

新町・木田余東台



平成 30 年 10 月 7 日

【Bブロック】

優勝 真鍋一丁目

2位 真鍋五丁目

3位 西真鍋

参加チーム (順不同) 真鍋

二丁目・真鍋三丁目・東都

和・殿里・新川真鍋

真鍋一丁目

体育部長 山口 哲男

Bブロックは、年齢別リレーを残すのみ。

1位は一丁目。2位の五丁目さんとは1点差。西真鍋さんとも差は僅か。優勝の行方は、年齢別リレーにかかります。

ピストルが鳴り、リレーがはじまりました。

小学生女子から男子にバトンが渡りました。

一丁目の順位は…スタートは小学4年生なので仕方ありません。

ここからの追い上げに期待します。

バトンが第2、第3、第4走者へと繋がっていきます。

前との差もぐいぐい詰まり、順位も上がってきました。

いよいよアンカーへバトンが渡りました。4位でしょうか。

第1コーナーで1人、第2コーナーで1人を抜き、2位へ浮上。

そのまま2位でゴール。

この結果五丁目さんと得点で並びました。

1位の数の差で一丁目の優勝となりました。

表彰式でカップを受け取る小学生も嬉しそうです。



若松町つばさ会(青年部)

会長 三木 崇行

平成 30 年市民体育祭・優勝・若松町!!

2年連続優勝のプレッシャーにも負けず、今年も優勝できたこと嬉しく思っています。体育祭の数週間前から子ども達は学校から帰ってきての夕方、大人は仕事や家事を済ませてからの夜、若松町公園に集まり各種目ごとに当日へ向け練習しました。

当日は晴天に恵まれ、体育部長を中心に高齢者から子どもまで、一致団結し夢中になって応援している姿、参加している姿はとても楽しそうでした。今年もそんなみんなの笑顔が見られるよう優勝めざして頑張りたいと思います。めざせ4連勝!!

編集部コラム

平成の時とともに

二中地区公民館が創立10周年を迎えた平成7年に、広報紙『公民館だより』創刊号が発行されました。B5判4ページ。紙面づくりから印刷まですべて内製だったそうで、手作りという雰囲気をもったものでした。名称は、公募などを経て、2号から『やすらぎ』になりました。

本紙は、二中地区における、折々の行事やできごと、町内の話題などをとりあげ、『平成の時とともに』24年間、皆さんに育てていただき、広報紙としての役割を果たしてきました。

次号が発行されるのは、新しい元号のときです。新元号の時代にも、それにふさわしい『やすらぎ』として、進化を続けていきたいものです。かなり前から、西暦表記のものも多くなり、そろそろ元号でなくとも、という意見もあります。ただ、たとえば新聞のコラムなどでは、『1989年』『2019年』を振り返る「よりも、『平成という時代を振り返る』の表題のほうが、しっくりくるように感じられると思うのです。が…

皆さんにとって、『平成』とは、どのような時代だったのでしょうか。



▲「やすらぎ」のバックナンバーは二中地区公民館ホームページから見ることができます。